



平成 26 年 10 月 20 日
独立行政法人国立科学博物館

第 30 回国際生物学賞記念シンポジウムの開催について

独立行政法人国立科学博物館（館長：林 良博）及び独立行政法人日本学術振興会（理事長：安西 祐一郎）の主催により、標記の国際シンポジウム（平成 26 年 12 月 2 日（火）～3 日（水））を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

国際生物学賞は、昭和天皇の御在位 60 年と長年にわたる生物学の御研究を記念するとともに生物学の奨励を図るため昭和 60 年（1985 年）に設けられました。

このたび第 30 回（平成 26 年度）の受賞者として、ピーター・クレイン博士（イエール大学）が決定しました。

博士は、世界に先駆けて古生物学と現生植物の情報を統合して、植物の系統・進化史を研究し、植物の系統解析研究をリードされてきた方で、今回の受賞を記念して、以下のシンポジウムを開催いたします。

➤ 平成 26 年 12 月 2 日（火） 【研究者、大学生・大学院生等対象】

日本学士院（東京・上野）にて、クレイン博士の特別講演や、動物・植物・菌類・古植物の分類と進化に関わる世界の先端的研究者による生物の多様性と系統・進化に関する講演会（言語：英語、特別講演のみ同時通訳）を行います。

➤ 平成 26 年 12 月 3 日（水） 【一般の方対象】

国立科学博物館（東京・上野）にて、日本の著名な研究者による生物多様性と系統・進化に関する研究や成果を多くの方に知っていただくための講演会（言語：日本語）を行います。

つきましては、取材・記事の掲載など、本シンポジウムの広報に関して、特段のご支援・ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

なお、本件につきましては、下記ウェブページ（本日公開）にても情報を掲載しておりますので、ご参照ください。

国際生物学賞記念シンポジウムウェブページ

<http://www.kahaku.go.jp/event/2014/12sympoBio30/>

本件についての問合せ

独立行政法人国立科学博物館 事業推進部 連携協力課

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL: 03-5814-9865

E-mail: bio30@kahaku.go.jp

国立科学博物館 HP: <http://www.kahaku.go.jp/>

第30回国際生物学賞記念シンポジウム

The 30th International Symposium in conjunction
with Award of the International Prize for Biology



生物の分類学と進化学の新展開

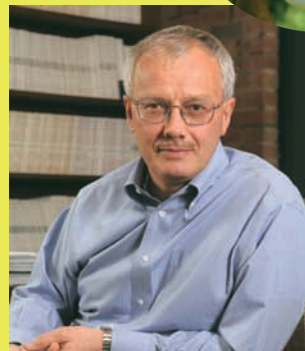
Expanding realm of taxonomy and evolutionary biology



生物学賞受賞者 Peter Crane (イエール大学)

ピーター・クレイン博士は、世界に先駆けて古生物学と現生植物の情報を統合して、植物の系統・進化史を研究しました。この新しい視点による研究手法で植物の系統解析研究をリードするとともに、植物多様性の一般社会における普及および保全への貢献も世界的に高く評価されています。

本シンポジウムでは、受賞者のクレイン博士だけでなく、生物学の様々な分野の著名な研究者にも講演していただきます。ぜひご参加ください。



2014年12月2日(火) 研究者、大学・大学院生等 対象

会場: 日本学士院 議場

開催時間: 10:00~17:30 (受付開始 9:00)

〈すべて英語での講演; 受賞講演のみ同時通訳〉

■ 動物学分野

Gonzalo Giribet (Harvard University)

Reinhardt M. Kristensen (University of Copenhagen)

■ 菌類学分野

David S. Hibbett (Clark University)

Timothy Y. James (University of Michigan)

■ 植物学分野

Pamela S. Soltis (University of Florida)

Peter K. Endress (University of Zurich)

■ 古植物学分野

Patrick S. Herendeen (Chicago Botanic Garden)

Kaj R. Pedersen (University of Aarhus)

Else Marie Friis (Swedish Museum of Natural History)

受賞者特別講演 16:30~17:30 (この講演のみ同時通訳付き)

Peter Crane (イエール大学)

2014年12月3日(水) 一般 対象

会場: 国立科学博物館 日本館 2階 講堂

開催時間: 10:00~15:30 (受付開始 9:00)

〈一般向けに日本語での講演〉

■ 講演者

高橋 正道 (新潟大学)

真鍋 真 (国立科学博物館)

遊川 知久 (国立科学博物館)

出川 洋介 (筑波大学)

中野 裕昭 (筑波大学)

吉澤 和徳 (北海道大学)

窪寺 恒己 (国立科学博物館)

聴講希望の方は事前申込みが必要です。

(先着順。11月20日〈木〉締切)

下記ホームページからお申し込みください。

※11月21日(金) 20:00~24日(月)は、サーバメンテナンスのため
ご覧いただけません。

<http://www.kahaku.go.jp/event/2014/12sympoBio30/>

(電話での申込みは受付けておりません。)

主催: 独立行政法人国立科学博物館／独立行政法人日本学術振興会

問合せ: 〒110-8718 台東区上野公園7-20 (独) 国立科学博物館連携協力課

問合せ専用アドレス: bio30@kahaku.go.jp

注) 参加費は無料ですが、12月3日の国立科学博物館でのシンポジウムは、入館料が必要です。(ただし、65歳以上及び18歳未満の方は入館料は無料)
なお、12月2日・3日も、席に限りがありますので申込みは先着順とさせていただきます。

●日時：2014年12月2日(火) 10:00—17:30 (9:00 受付開始)

●会場：日本学士院 議場

9:00—10:00 Registration
10:00—10:10 Opening program

Session I. Zoology

10:10—10:45 Reconstructing the animal tree of life in the era of genomics
Gonzalo Giribet (Harvard University)
10:45—11:20 The tree of life in the light of the discoveries of the three new phyla, Loricifera, Cycliophora and Micrognathozoa
Reinhardt M. Kristensen (University of Copenhagen)

Session II. Mycology

11:20—11:55 Phylogenomics of wood decay fungi and the "End of the Carboniferous"
David S. Hibbett (Clark University)
11:55—13:00 Lunch
13:00—13:35 A parasitic root on the fungal tree of life inferred using phylogenomics
Timothy Y. James (University of Michigan)

Session III. Botany

13:40—14:15 Genome duplication and angiosperm diversification
Pamela S. Soltis (University of Florida)
14:15—14:50 Ancestral traits and specializations in the flowers of the basal grade of extant angiosperms
Peter K. Endress (University of Zurich)
14:50—15:00 Coffee Break

Session IV. Paleobotany

15:00—15:35 Late Mesozoic pre-angiosperm vegetation
Patrick S. Herendeen (Chicago Botanic Garden)
15:35—16:15 Fossil flowers: New insights in angiosperm evolution
Kaj R. Pedersen (University of Aarhus) and Else Marie Friis (Swedish Museum of Natural History)
16:15—16:30 Coffee Break

Special Lecture by the prize winner

16:30—17:30 Paleobotanical data and the origin of flowering plants
「古植物学的データと被子植物の起源」
Peter Crane (イェール大学)
18:00 Reception

※シンポジウムへの参加は
事前申し込みが必要です

- 定員(対象)：200名(主に研究者、大学・大学院生等向け)
- 申込：ホームページ <http://www.kahaku.go.jp/event/2014/12sympoBio30/> より申込み(先着順。11月20日(木)締切)
- 参加費：無料
- 使用言語：英語(特別講演のみ同時通訳付き)

●日時：2014年12月3日(水) 10:00—15:30 (9:00 受付開始)

●会場：国立科学博物館 日本館 2階講堂

Session I. 生物の分類の体系化～生物の世界の秩序を探って～

10:00—10:05 開会あいさつ
10:05—10:40 「第30回 国際生物学賞 受賞者ピーター クレイン博士 ～花の起源と初期進化への挑戦者～」
高橋 正道(新潟大学)
10:40—11:15 化石から読み解く進化：恐竜から鳥類へ
真鍋 真(国立科学博物館)
11:15—11:50 世界一大きい「花」シヨクダイオオコンニャク
遊川 知久(国立科学博物館)
11:50—13:00 昼食・休憩

Session II. 生物多様性研究の最先端～驚異の生物を探って～

13:00—13:35 生きる化石「接合菌」から探る菌類の陸上進出
出川 洋介(筑波大学)
13:35—14:10 珍渦虫とは何なのか
中野 裕昭(筑波大学)
14:20—14:55 昆虫の高次系統推定の進展とゲノム時代の昆虫形態学
吉澤 和徳(北海道大学)
14:55—15:30 深海に棲む大型イカ類
窪寺 恒己(国立科学博物館)

※シンポジウムへの参加は
事前申し込みが必要です

- 定員(対象)：150名(一般向け)
- 申込：ホームページ <http://www.kahaku.go.jp/event/2014/12sympoBio30/> より申込み(先着順。11月20日(木)締切)
- 参加費：無料(ただし、別途入館料が必要です。一般・大学生 620円、高校生以下・65歳以上無料)
- 使用言語：日本語